

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: MIYAZAKI, Takao et al

Application No.:

Group:

Filed: August 30, 2001

Examiner:

For: INFORMING SYSTEM AND METHOD

L E T T E R

Honorable Commissioner of Patents
and Trademarks
Washington, D.C. 20231

August 30, 2001
0879-0347P

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119 and 37 CFR 1.55(a), the applicant hereby claims the right of priority based on the following application(s):

Country
JAPAN

Application No.
2000-263309

Filed
08/31/00

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to Deposit Account No. 02-2448 for any additional fees required under 37 C.F.R. 1.16 or under 37 C.F.R. 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By: 

JOHN CASTELLANO

Reg. No. 35,094

P. O. Box 747

Falls Church, Virginia 22040-0747

Attachment
(703) 205-8000
/nv

2
JC997 U.S. PTO
09/941563
08/30/01

MIYAZAKI, Takao et al.
0879-0347P
August 30, 2001
BSKB, LLP
庁(703)205-8000
1041

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 8月31日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-263309

出 願 人
Applicant(s):

富士写真フイルム株式会社

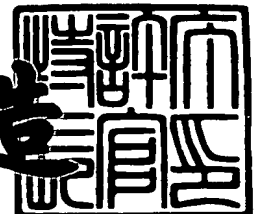
JC997 U.S. PTO
09/941563



2001年 6月19日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3056643

【書類名】 特許願

【整理番号】 FJ2000-097

【提出日】 平成12年 8月31日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 3/147

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号
 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 宮崎 紳夫

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号
 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 西村 友良

【特許出願人】

 【識別番号】 000005201

 【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100083116

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 松浦 憲三

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 012678

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9801416

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 通知システム及び通知方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ローカルエリアネットワークを介して利用者に印刷又は表示して通知する情報の緊急度、自動通知の可否、通知する情報量又は通知を実施する通知手段を備えた通信機器等の各情報が記載された通知のプロパティファイルを作成する手段と、

前記通知のプロパティファイルに記載された情報に基づいて通知する情報を印刷又は表示する通知手段と、

を備えたことを特徴とする通知システム。

【請求項 2】 ローカルエリアネットワークを介して利用者に印刷又は表示して通知する情報の緊急度、自動通知の可否、通知する情報量又は通知を実施する通知手段を備えた通信機器等の各情報が記載された通知のプロパティファイルを作成する手段と、

前記通知のプロパティファイルを記憶するサーバと、

前記サーバに記憶された通知のプロパティファイルに記載された情報に基づいて通知する情報を印刷又は表示する通知手段と、

を備えたことを特徴とする通知システム。

【請求項 3】 前記サーバは、ネットワークを介して情報の送受信が可能な通信手段を備えた冷蔵庫又は電話機であることを特徴とする請求項 2 の通知システム。

【請求項 4】 前記ローカルエリアネットワークは、一般家庭内のネットワークであることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 の通知システム。

【請求項 5】 前記通知手段は、ネットワークを介して得られる緊急度の情報に基づいて待機モードから起動モードに遷移可能な待機モード解除手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 の通知システム。

【請求項 6】 ローカルエリアネットワークを介して利用者に印刷又は表示して通知する情報の緊急度、自動通知の可否、通知する情報量又は通知を実施する通知手段を備えた通信機器等の各情報が記載された通知のプロパティファイル

を作成する工程と、

前記通知のプロパティファイルに記載された情報に基づいて通知する情報を印刷又は表示する工程と、

を含むことを特徴とする通知方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通知システム及び通知方法に係り、特にローカルエリアネットワークを介して通知手段が利用者に対して情報の通知を行う、通知システム及び通知方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来から、プリント要求の内容を解析し、その結果に基づいてジョブデータの受信に必要なリソースの割り当てを行い、例えば優先度の高いジョブほど長い接続時間が割り当てられ、他のジョブよりも早く受信終了するように制御されるプリントシステムが、特開平10-187387号の公報に示されている。

【0003】

また、設備機器の異常の発報が、同時に多数発生する緊急事態に際しても、監視処理を遅延なく迅速に行うことができるビル遠隔監視装置が特開平5-282584号の公報に示されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら特開平10-187387号の公報に示されているプリントシステムでは、プリント要求を解析し優先度を評価するものの、プリントジョブの順序が優先度とは無関係にプリンタに設定されている順序に依存してしまうという不具合を生じていた。

【0005】

また、特開平5-282584号の公報に示されているビル遠隔監視装置では、特定の異常発報を受信すると異常発報の受信数を計数するが、その計数値が所

定の値を超えた場合にしか印字処理を実行しないという不具合を生じていた。

【0006】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、印刷や表示といった利用者に対する通知の緊急度等の情報に応じて、複数種類の通知モードの設定が可能な通知システム及び通知方法を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明は前記目的を達成するために、ローカルエリアネットワークを介して利用者に印刷又は表示して通知する情報の緊急度、自動通知の可否、通知する情報量又は通知を実施する通知手段を備えた通信機器等の各情報が記載された通知のプロパティファイルを作成する手段と、前記通知のプロパティファイルに記載された情報に基づいて通知する情報を印刷又は表示する通知手段とを備えたことを特徴としている。

【0008】

本発明によれば、ローカルエリアネットワークを介して利用者に印刷又は表示して通知する情報の緊急度、自動通知の可否、通知する情報量又は通知を実施する通知手段を備えた通信機器等の各情報が記載された通知のプロパティファイルを作成する手段と、前記通知のプロパティファイルに記載された情報に基づいて通知する情報を印刷又は表示する通知手段とを備えたので、利用者に対する通知の緊急度等の各情報に応じて適切な通知の設定が可能となる。

【0009】

【発明の実施の形態】

以下添付図面に従って、本発明に係る通知システム及び通知方法の好ましい実施の形態について詳説する。

【0010】

図1は、家庭外ネットワークと通信可能に接続された家庭内ネットワーク（ローカルエリアネットワーク）の構成を示す図である。

【0011】

同図によればローカルエリアネットワークの一種である家庭内ネットワークは

、インターネット 10 又は電話回線 12 等の家庭外ネットワークと接続されており、外部の電話機やコンピュータ等の通信機器と情報の送受信が可能となっている。

【0012】

また家庭内ネットワークには、一般に常時電源が供給されているとともに家庭内ネットワークの通信管理及びサーバとしての機能を備えた冷蔵庫 20 と、電子レンジ 22 と、テレビ 24（通知手段の機能を含む）と、パソコン 26 と、プリンタ 28（通知手段）と、電話機 30（冷蔵庫 20 のようにサーバの機能や通知手段を備えていてもよい）と、利用者に情報を表示する表示手段及び利用者が情報を入力する入力手段を備えた各部屋に設置されている情報端末 32（通知手段）と、ホームセキュリティシステム 34 と、インターフォン 36 との家庭内の通信機器とから構成されている。

【0013】

また、ホームセキュリティシステム 34 の撮影画像やインターフォン 36 で得られる画像又は音声信号を、家庭外ネットワークに送信する際に都合のよいように必要に応じてデジタル化及び圧縮処理を実施するデジタル化手段 37 と、前記デジタル化手段が圧縮処理した映像又は音声信号等の情報を家庭外ネットワークに送信する場合に所定の電話番号の通信機器にダイヤルアップするダイヤルアップ手段 38 とが設けられている。

【0014】

なお、前記サーバは、少なくとも情報処理手段と通信手段とハードディスクやメモリといった情報の記憶手段とを備えた、一般のパソコンに代表される機能を備えている。

【0015】

図 2 に、サーバとして利用可能な冷蔵庫のブロック図を示す。

【0016】

同図によれば、冷蔵庫 20 には、食品等を冷蔵する冷蔵庫ユニット 100 と、冷蔵庫ユニット 100 を制御する冷蔵庫コントローラ 102 と、家庭内ネットワークと通信することが可能な通信手段 104 と、前記冷蔵庫コントローラ 102

が家庭内ネットワークに出力する情報を受け取るとともに通信手段104を介してネットワークと情報の送受信を行ってサーバとしての通信を管理する処理等を実行する情報処理手段（CPU）106とが設けられている。

【0017】

また、冷蔵庫20には、前記情報処理手段106のワークエリアとなる高速アクセス可能なメモリ108と、冷蔵庫ユニット100に関する情報や家庭内ネットワークを介して入出力される各種情報を記憶するハードディスク等の大容量の記憶手段110とが設けられている。

【0018】

図3に、サーバとして利用可能な電話機のブロック図を示す。

【0019】

同図によれば、電話機20には、音声の送受信及びFAXを送受信する機能を備えた電話ユニット120と、電話ユニット120を制御するとともに後述する情報処手段126が電話回線を介して送受信する情報を変換する電話コントローラ122と、家庭内ネットワークと情報の送受信を行うことが可能な通信手段124と、前記電話コントローラ122が家庭内ネットワークに出力する情報を受け取るとともに通信手段124を介してネットワークと情報の送受信を行ってサーバとしての通信を管理する処理等を実行する情報処理手段（CPU）126とが設けられている。

【0020】

また、電話機30には、前記情報処理手段126のワークエリアとなる高速アクセスが可能なメモリ128と、電話ユニット120に関する情報や、家庭内ネットワークを介して入出力される各種情報を記憶するハードディスク等の大容量の記憶手段130とが設けられている。

【0021】

図1に示した各家庭内の通信機器が利用者に情報を通知する場合には、表示手段を備えたテレビ24、電話機30又は情報端末32に表示するか、プリンタ28又は印刷手段を備えた情報端末32のプリンタ部から必要な情報を印刷して出力する処理を行う。このときの表示及び印刷の条件に関する情報は、表示又は印

刷のプロパティファイルに予め記載されている。

【0022】

図4に、各家庭内の通信機器が利用者に対して情報を通知する際の表示又は印刷時の条件が記載されたプロパティファイルの内容を示す。

【0023】

同図に示すように、プロパティファイル40には、印刷又は表示の緊急度や他のジョブに対する優先順位を示す優先順位情報42と、印刷又は表示を自動で行うか利用者の指示を待つかの印刷指示情報44（自動通知の可否情報）と、印刷又は表示の実施範囲や分量（通知する情報量）を指定する印刷量情報46と、印刷又は表示にて通知を実施する通知手段を備えた通信機器を指定する機器アドレス48とが記載されている。なお、各家庭内の他の通信機器が待機モードに設定されている場合には、家庭内ネットワークを介して受信した上記の優先順位情報42に基づいて、待機モードから通常の起動モードに自動で遷移するように構成してもよい。

【0024】

また、上記に示したようなプロパティファイル40は、例えば各部屋に設置されている情報端末32にて利用者が入力して作成し、サーバ等の家庭内の通信機器の何れかが記憶しておく。そして上記プロパティファイル40を利用する際には、家庭内の各々の通信機器が直接通知手段を備えた他の通信機器に対して表示又は印刷する情報とプロパティファイル40とを送信してもよいし、家庭内の各々の通信機器がサーバ等の通信機器を介して通知手段を備えた他の通信機器に対して表示又は印刷する情報とプロパティファイル40とを送信してもよい。

【0025】

次に、図5及び図6を用いて、プロパティファイル40の作成方法について説明する。

【0026】

図5は、例えば情報端末32の表示手段に表示されている選択画面を示す図である。

【0027】

同図に示すように、情報端末32にはタッチパネル等で構成された入力手段とともに備えた表示手段50が設けられている。表示手段50には、家庭内ネットワークを構成している各通信機器が表示されているとともに、各々の通信機器のプロパティ情報を作成することを指示するプロパティボタン52と、情報の更新を指示する更新ボタン54と、削除することを指示する削除ボタン56と、各々の通信機器の選択を指示する選択枠58とが表示されている。同図に示す表示例では、インターフォン36に設けられている「呼鈴」の機能が選択されていることを示している。

【0028】

また情報端末32には、情報の着信や異常を警告音として利用者に通知したり、インターフォン36の発音手段として利用可能なスピーカ60（通知手段）と、インターフォン36の集音手段として利用可能なマイク61とが設けられている。

【0029】

情報端末32にて利用者が「呼鈴」の機能を選択してプロパティボタン52を押すと、表示手段50の表示は図6に示す呼鈴のプロパティ画面に遷移する。

【0030】

図6は、情報端末32の表示手段50に表示された呼鈴のプロパティ画面を示す図である。

【0031】

同図に示す呼鈴のプロパティ表示画面では、「呼鈴」に関するプロパティファイル40の編集作業を行うことが可能である。同図に示すように、各々の通知を指示する機器アドレス48（図6にはADDRESSと記載）に対して通知の条件情報を記載することが可能な、印刷量情報46（図6にはQUANTITYと記載）、印刷指示情報44（図6にはAUTOと記載）、優先順位情報42（図6にはEMERGENCYと記載）印刷指示プロパティが表示されている。そしてこれらの通知に関する条件情報は、削除ボタン56、OKボタン62、キャンセルボタン64等の入力手段を用いて自在に編集することが可能となっている。

【0032】

図7に、プロパティファイル40の編集処理のフローチャートを示す。

【0033】

同図に示す処理は、例えば情報端末32等の家庭内の通信機器に設けられている情報処理手段が実行する。例えば図6に示した呼鈴のプロパティ表示画面が表示されると、情報処理手段の処理プログラムはステップS100「START」（以降S100のように省略して記載する）のルーチンに分岐してくる。

【0034】

すると処理プログラムは、次のS102「ADRESSプロパティの入力」に進み、利用者が図6に示す表示手段50上の機器アドレス48の部分（例えば「TV」の部分）に触れて所望の通信機器を選択する。利用者が所望の通信機器を選択すると、処理プログラムは次のS104「QUANTITYプロパティの入力」に進む。

【0035】

次のS104では、利用者は表示手段50上に表示されている印刷量情報46の部分に触れて印刷又は表示の分量を指定する。印刷量情報46の指定が終了すると、処理プログラムは次のS106「AUTOプロパティの入力」に進む。

【0036】

次のS106では、利用者は表示手段50上に表示されている印刷指示情報44の部分に触れて印刷又は表示の指示を指定する。印刷指示情報44の指示が終了すると、処理プログラムは次のS108「EMERGENCY プロパティの入力」に進む。

【0037】

次のS108では、利用者は表示手段50上に表示されている優先順位情報42の部分に触れて印刷又は表示の優先順位を指定する。優先順位情報42の指示が終了すると、処理プログラムは次のS110「印刷（表示）指定したい全ての機器を選択したか？」の判断に進む。

【0038】

次のS110では、全ての家庭内の通信機器に対してプロパティの設定が終了したか否かの判断を行っている。もし全ての通信機器に対してプロパティの設定が終了していない場合にはS102に分岐して戻り、再び他の通信機器のプロパ

ティの設定処理を行う。また、もし全ての通信機器に対してプロパティの設定が終了した場合には、S112「END」に進み、プロパティファイル40の編集処理を終了して元の処理ルーチンに戻る。

【0039】

図8に、雑誌の講読を設定する情報端末32のユーザーインターフェースの実施例を示す。

【0040】

例えば図5に示されている「雑誌」の項目を選択すると、表示手段50の表示は、図8に示される画面に遷移する。

【0041】

図8に示す情報端末32の表示手段50には、講読又は選択されていることを示すチェックボックス66、66…と、「週刊〇×マガジン」が配信されて着信していること又は受信可能な状態にあることを、枠を表示して反転表示やブリンクにて通知する着信表示68と、全ての雑誌の講読を指示する全講読チェックボックス70と、目次を表示する画面に遷移することを指示する目次表示ボタン72とが表示されている。

【0042】

また、情報端末32には、講読している雑誌、新聞が着信したことを点滅して利用者に通知する点灯式スイッチ74、74（通知手段）が設けられている。また、他の点灯式スイッチ74、74は、ホームセキュリティシステム34に関する情報の通知や、プリンタ28からの情報の通知、情報のプリント指示等に割り当てられている。なお、「ホームセキュリティ」が割り当てられている点灯式スイッチ74を押すと、表示手段50の表示は例えば監視カメラの撮影画像に切り替わる。

【0043】

また、監視カメラのプロパティファイル40で情報端末32の優先順位情報42を「1」（優先順位が最高のレベル）に設定しておくこと、監視カメラのシステムにて何らかのセキュリティ異常を検知した場合に強制的に画面が監視カメラの撮影画像に切り替わるように設定しておいたり、もし情報端末32の電源がスタ

ンバイモードになっていた場合に、電源をONにすることも可能である。

【0044】

また、監視カメラのプロパティファイル40において液晶ディスプレイ付き携帯電話の優先順位情報42を「1」に設定しておくことで、旅行で家を留守にしている際に来客者のチェックを行ったり、インターフォンのプロパティファイル40において液晶ディスプレイ付き携帯電話の優先順位情報42を「1」に設定しておくことで、旅行で家を留守にしている際に来客者と会話を行ったりすることができる。この場合は図1に示すようにインターフォン及び監視カメラの情報がディジタル手段37によりディジタル化及び情報圧縮され、ダイヤルアップ手段38により液晶ディスプレイ付き携帯電話にダイヤルアップ接続することで実現できる。

【0045】

図9に、雑誌の講読を設定する情報端末32のユーザーインターフェースの他の実施例を示す。

【0046】

図8に示す表示にて、「週刊〇×マガジン」の項目を選択して目次表示ボタン72を押すと、図9に示される表示に遷移する。

【0047】

図9に示す表示には、「週刊〇×マガジン」に関する講読の項目が表示されている。同図によれば、表示手段50には、映画、音楽、今週の新製品…等の各種項目と、講読又は選択されていることを示すチェックボックス66、66…と、全ての項目の講読を指示する全講読チェックボックス70と、詳細な内容を表示することを指示する内容表示ボタン76とが表示されている。

【0048】

図10に、雑誌の講読を設定する情報端末32のユーザーインターフェースの他の実施例を示す。

【0049】

図8に示す表示にて、「NAVY」の項目のチェックボックス66をチェックすると、図10に示される表示に遷移する。

【0050】

図10に示す表示には、「NAVY」に関する講読の開始に関する情報が表示されている。同図によれば、表示手段50には、注意書きと、雑誌の講読者個人を識別する識別情報（ID）の記載部分と、雑誌の購読料の支払いに関して利用者を確認するパスワードの入力部と、入力した結果を家庭外のネットワークに接続されている所定の通信機器に送信することを示す送信ボタン78とが設けられている。

【0051】

図11に、情報端末32が利用者に対して各種の情報を通知する処理のフローチャートを示す。

【0052】

情報端末32の電源スイッチが切られている状態（例えばスタンバイ状態）での情報端末32の処理プログラムは、S200「START」からS202「電源はONになったか？」の判断に進むとともに、情報端末32の電源スイッチが投入されるまで待つ処理を行う。

【0053】

もし、S202で情報端末32の電源が投入されたと判断した場合には、処理プログラムは次のS204「サーバー（冷蔵庫）に接続」に進み、情報端末32に設けられている通信手段は家庭内のネットワークを介してサーバである冷蔵庫と通信を開始する処理を実施する。家庭内のネットワークのサーバと通信が開始されると、処理プログラムは次のS206「新着雑誌、新聞のチェック」に進む。

【0054】

次のS206では、サーバに新たな情報（利用者に通知すべき情報など）が到着しているか否かの問い合わせを行う。次のS208「新着雑誌有るか？」の判断では、S206にて情報端末32がサーバに問い合わせ得た情報の解析を行っている。もしS208にて、サーバから受信した情報に新着雑誌が存在するという情報が含まれている場合には、処理プログラムはS210「雑誌LEDを点滅させる」に分岐して、例えば図8に示される「雑誌」の点灯式スイッチ74を

点滅させて利用者に通知する。なお、このときスピーカ60から音声を発して利用者に通知するようにしてもよい。

【0055】

次のS212「新着新聞有るか？」の判断で、もしサーバから受信した情報に新着新聞が存在するという情報が含まれている場合には、処理プログラムはS214「新聞LEDを点滅させる」に分岐して、例えば図8に示される「新聞」の点灯式スイッチ74を点滅させて利用者に通知する。

【0056】

次のS216「AUTO=1か？」の判断では、印刷指示情報44の情報を読み出して、自動で印刷するか否かの判断を行っている。もし、「AUTO=1」である場合には、自動で印刷すると判断して処理プログラムはS218「印刷」に進む。S218では、プロパティファイル40に記載された内容に基づいて、情報の印刷を指示する。この情報の印刷は、情報端末32に設けられているプリンタに対して印刷の指示を行ってもよいし、独立して家庭内ネットワークに接続されているプリンタ28に対して印刷の指示を行ってもよい。また、必要に応じて情報端末32の表示手段50に情報を表示してもよいし、利用者に印刷の実行の指示を乞うようにしてもよい。また、プリンタ28の用紙が不足している場合には、その旨をプリンタ28から受信して表示手段50上に表示してもよい。

【0057】

S216の判断で「AUTO=1」でない場合又は、S218で印刷の処理が終了した場合には、処理プログラムは次のS220「END」に進み、情報端末32の印刷又は表示の処理を終了する。

【0058】

以上の説明においては家庭内のネットワーク内での通信システム並びに通知方法を示したが、家庭内に限らず一般のローカルエリアネットワークにも本発明を応用することが可能である。

【0059】

【発明の効果】

以上説明したように本発明に係る通知システム及び通知方法によれば、ローカ

ルエリアネットワークを介して利用者に印刷又は表示して通知する情報の緊急度、自動通知の可否、通知する情報量又は通知を実施する通知手段を備えた通信機器等の各情報が記載された通知のプロパティファイルを作成する手段と、前記通知のプロパティファイルに記載された情報に基づいて通知する情報を印刷又は表示する通知手段とを備えたので、利用者に対する通知の緊急度等の各情報に応じて適切な通知の設定が可能となる。

【0060】

また、緊急度の高い印刷や表示の通知情報とそうでない情報に対して差をつけて扱うことが可能なので、利用者は緊急度に応じて情報を取得することが可能となり、緊急度の低い情報に惑わされることがない。

【0061】

また、自動通知と非自動通知とを選択することが可能であるので、無駄な印刷や表示を防止することが可能となる。

【0062】

また、情報の通知量を変更可能であるので、ポイントを絞った通知が得られ、ローカルエリアのネットワークに接続された通信機器を他の用途（テレビであればテレビを見ている間）に利用している間に該通信機器（テレビ）に情報が表示されても目障りにならないように設定することが可能となる。

【0063】

また、本発明に係る通知システムはワイドエリア（家庭外）のネットワークと接続されているので、外部からであっても汎用の通信端末（例えば携帯電話など）からローカルエリアネットワークに接続された通信機器を制御して情報を通知することが可能となる。

【0064】

また、サーバとして冷蔵庫又は電話機を用いることによって、不用意に電源を遮断される心配がないため、通信システムを安心して運用することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

家庭内ネットワークの構成を示す図

【図 2】

サーバとして利用可能な冷蔵庫のブロック図

【図 3】

サーバとして利用可能な電話機のブロック図

【図 4】

各家庭内の通信機器が利用者に対して情報を通知する際の通知の条件が記載されたプロパティファイルの内容を示す図

【図 5】

情報端末の表示手段に表示されている選択画面を示す図

【図 6】

情報端末の表示手段に表示された呼鈴のプロパティ画面を示す図

【図 7】

プロパティファイルの編集処理のフローチャート

【図 8】

雑誌の講読を設定する情報端末 32 のユーザーインターフェースの実施例を示す図

【図 9】

雑誌の講読を設定する情報端末のユーザーインターフェースの他の実施例を示す図

【図 10】

雑誌の講読を設定する情報端末のユーザーインターフェースの他の実施例を示す図

【図 11】

情報端末が利用者に対して各種の情報を通知する処理のフローチャート

【符号の説明】

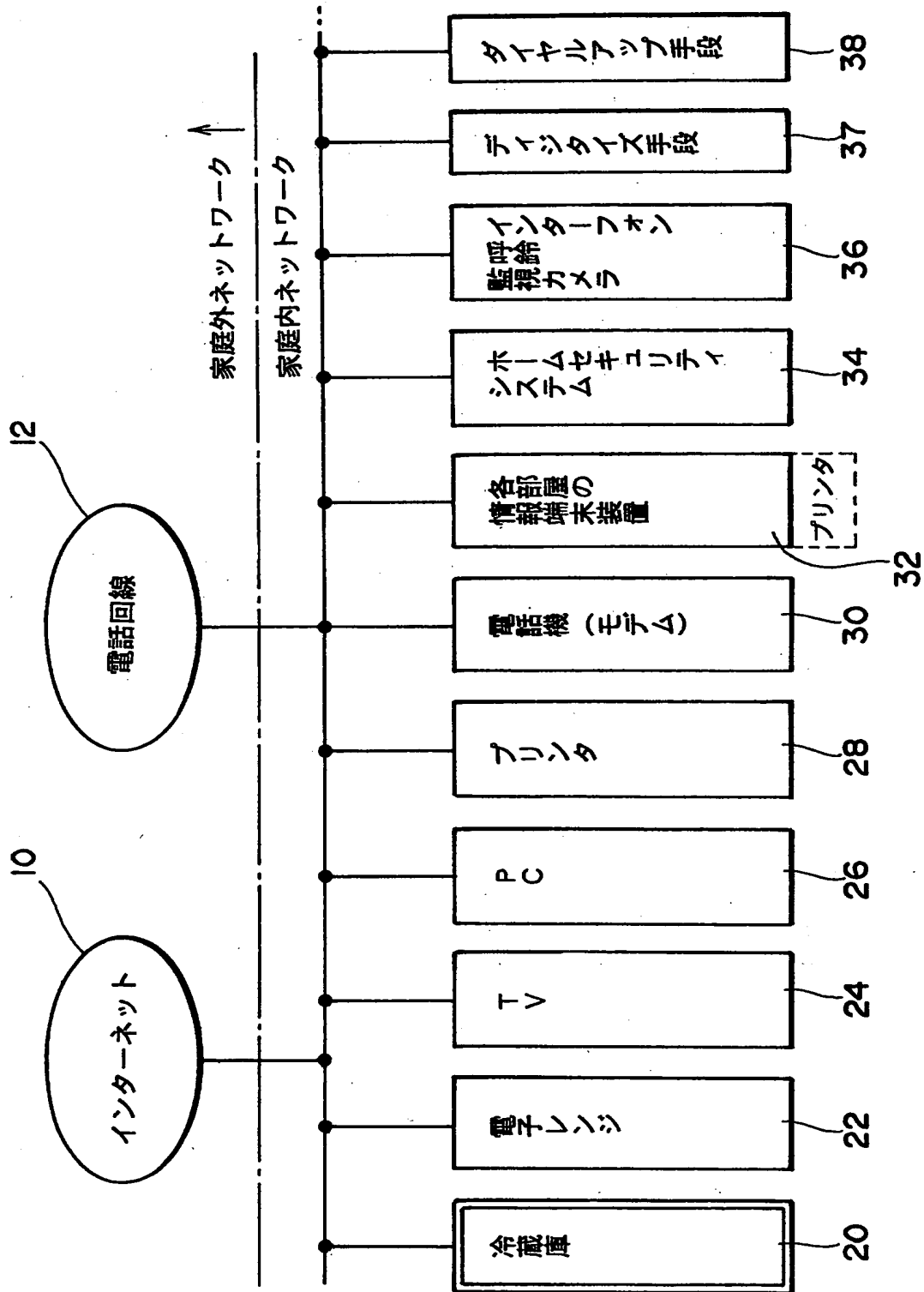
10…インターネット、12…電話回線、20…冷蔵庫（サーバ）、28…プリンタ、30…電話機（サーバ）、32…情報端末、34…ホームセキュリティシステム、36…インターフォン、40…プロパティファイル、42…優先順位

情報、44…印刷指示情報、46…印刷量情報、48…機器アドレス、50…表示手段、74…点灯式スイッチ

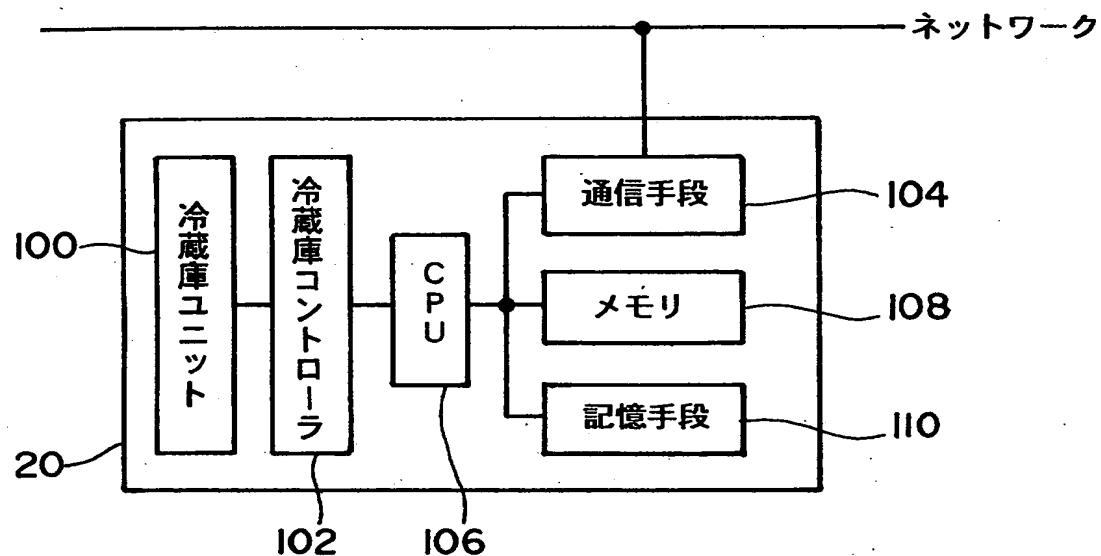
【書類名】

図面

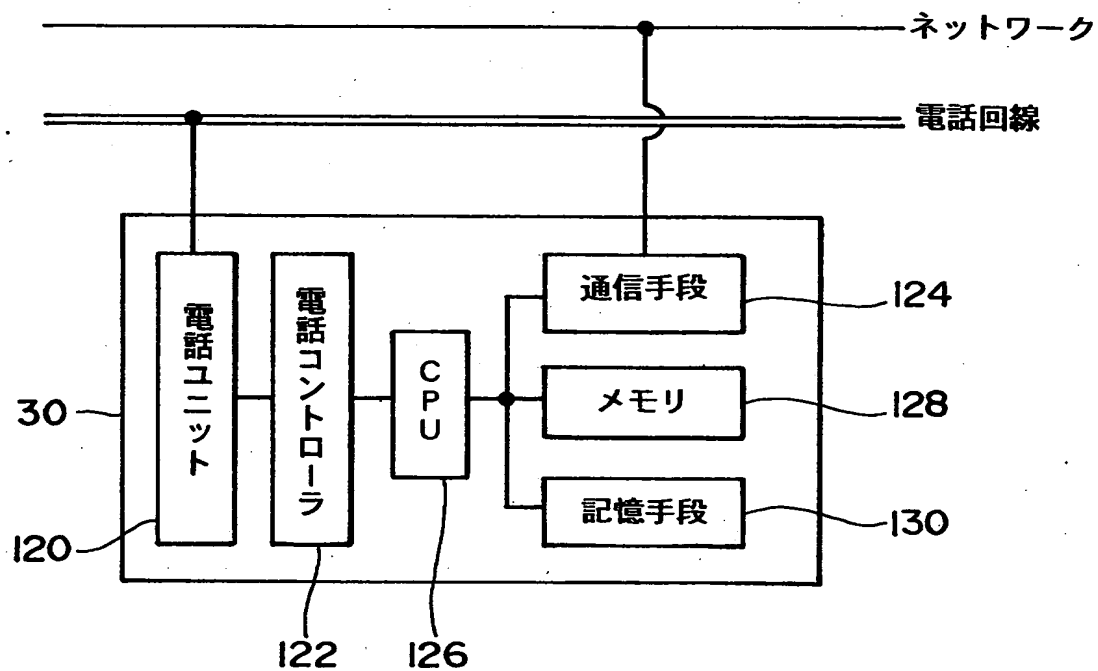
【図 1】



【図2】



【図3】

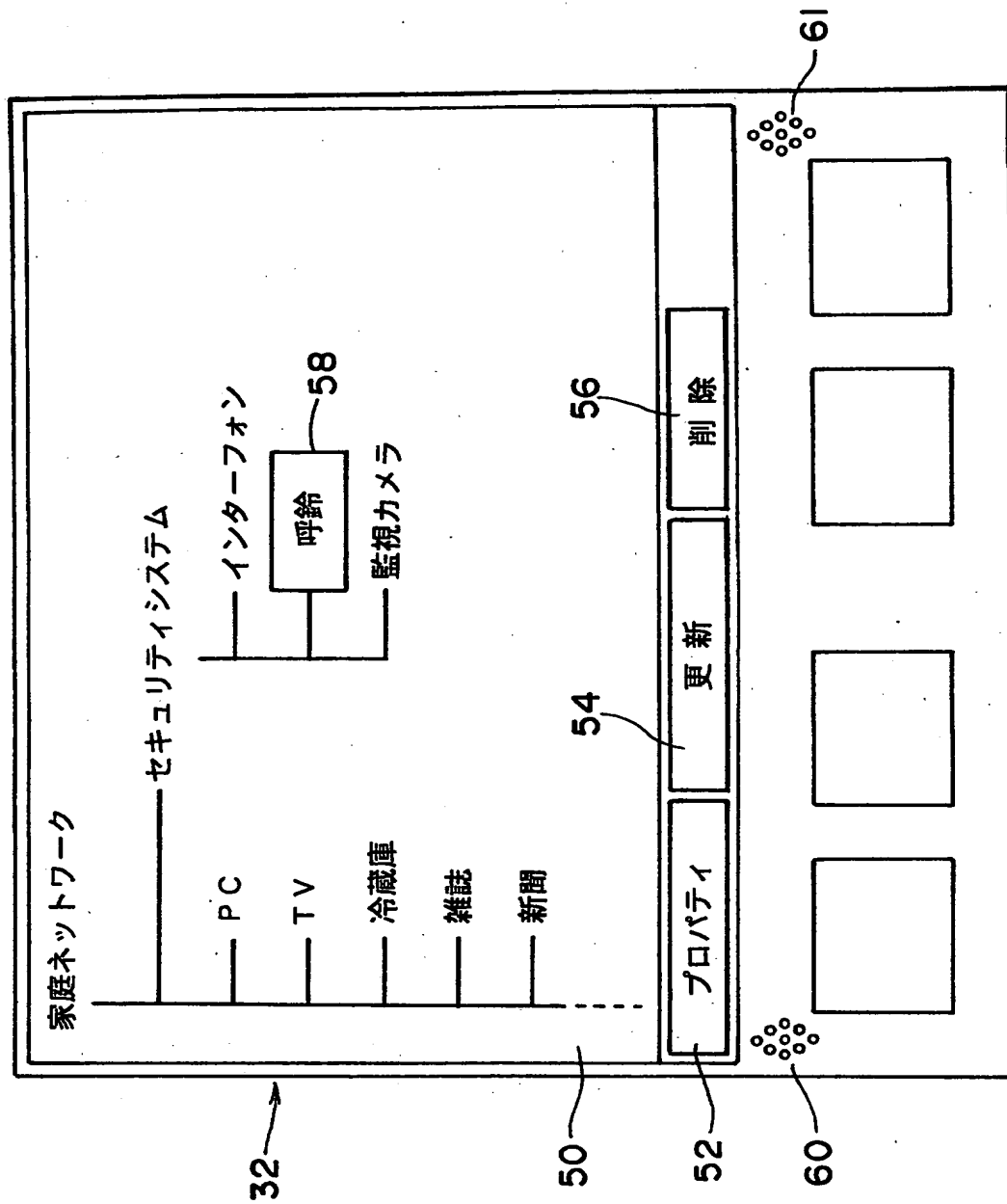


【図 4】

40

印刷指示プロパティ	値	意味
EMERGENCY	0	通常処理
	1	他のJOBに優先して印刷(表示)する。 スタンバイモードの機器の電源をONにする。
AUTO	0	手動で印刷(表示)する(印刷指示待ち)
	1	自動で印刷(表示)する
QUANTITY	0(NONE)	印刷(表示)しない
	1(PARTIAL)	部分的に印刷(表示)
	2(ALL)	全体を印刷(表示)
ADDRESS	任意(指定なし、0~255)	指定無し:無差別に接続機器全てに印刷(表示)する 0~255:対応するアドレスの機器に印刷(表示)する

【図5】



【図6】

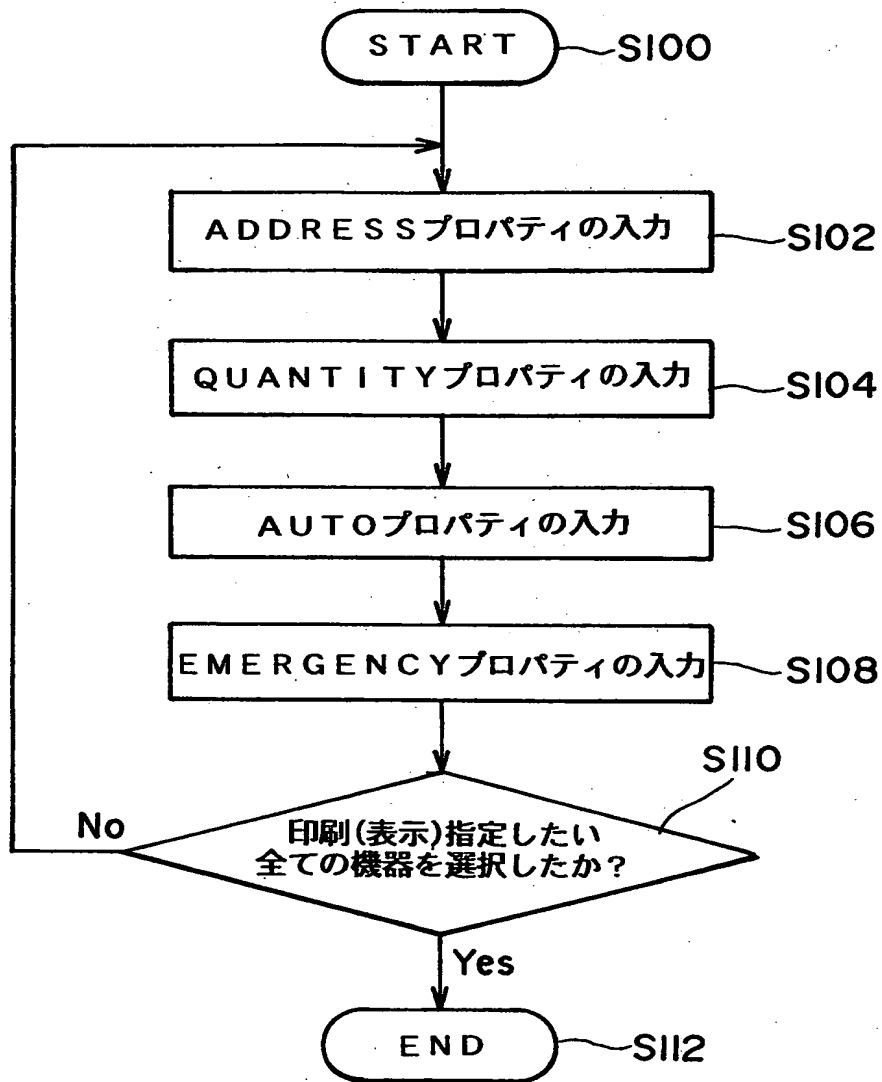
呼鈴のプロパティ

ADDRESS	冷蔵庫	TV	PC	電話	プリンタ
QUANTITY	0	1	1	1	0
AUTO	0	1	1	1	0
EMERGENCY	0	1	1	0	0

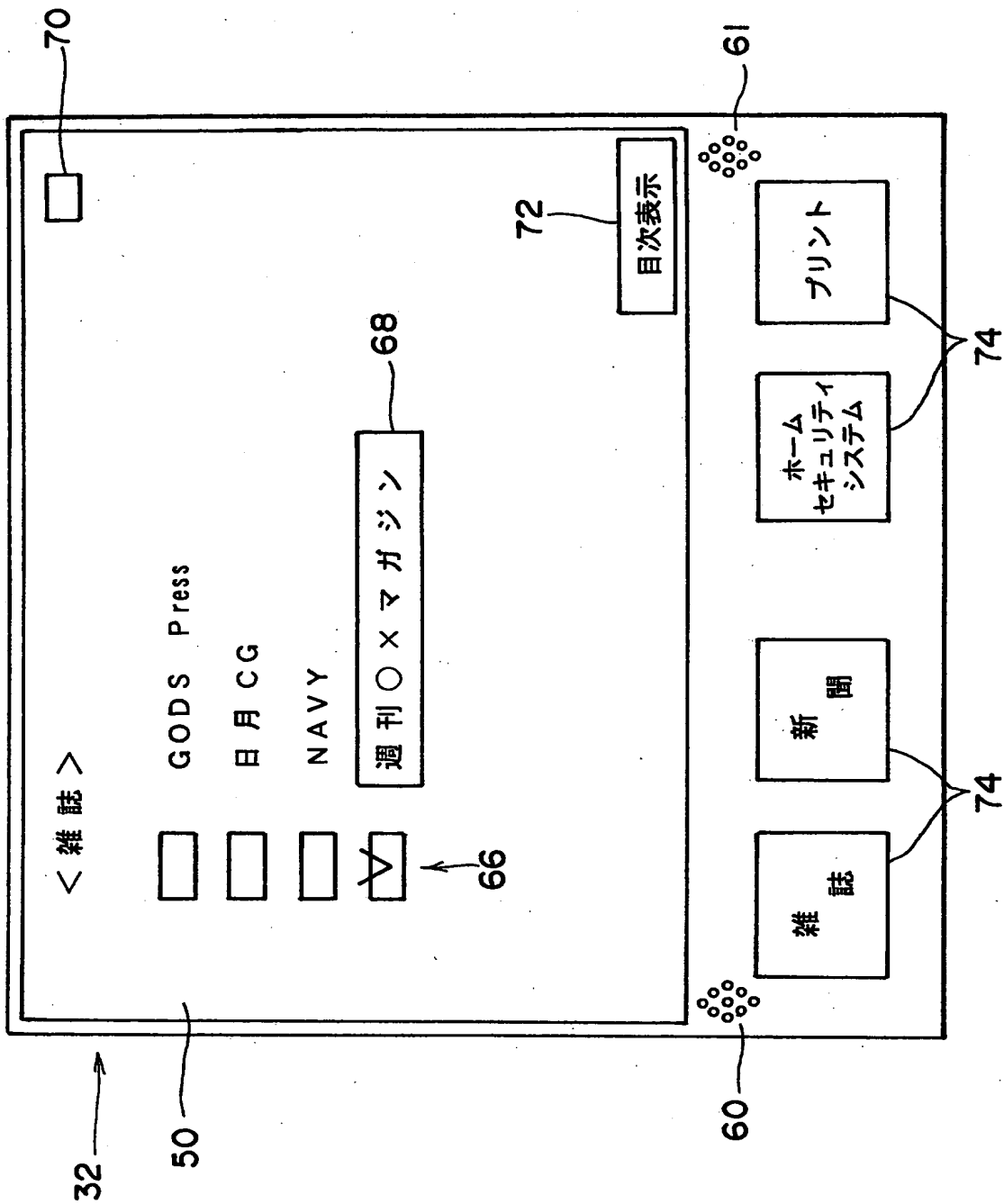
削除 OK キャンセル

48 46 44 42 32 50 56 62 64

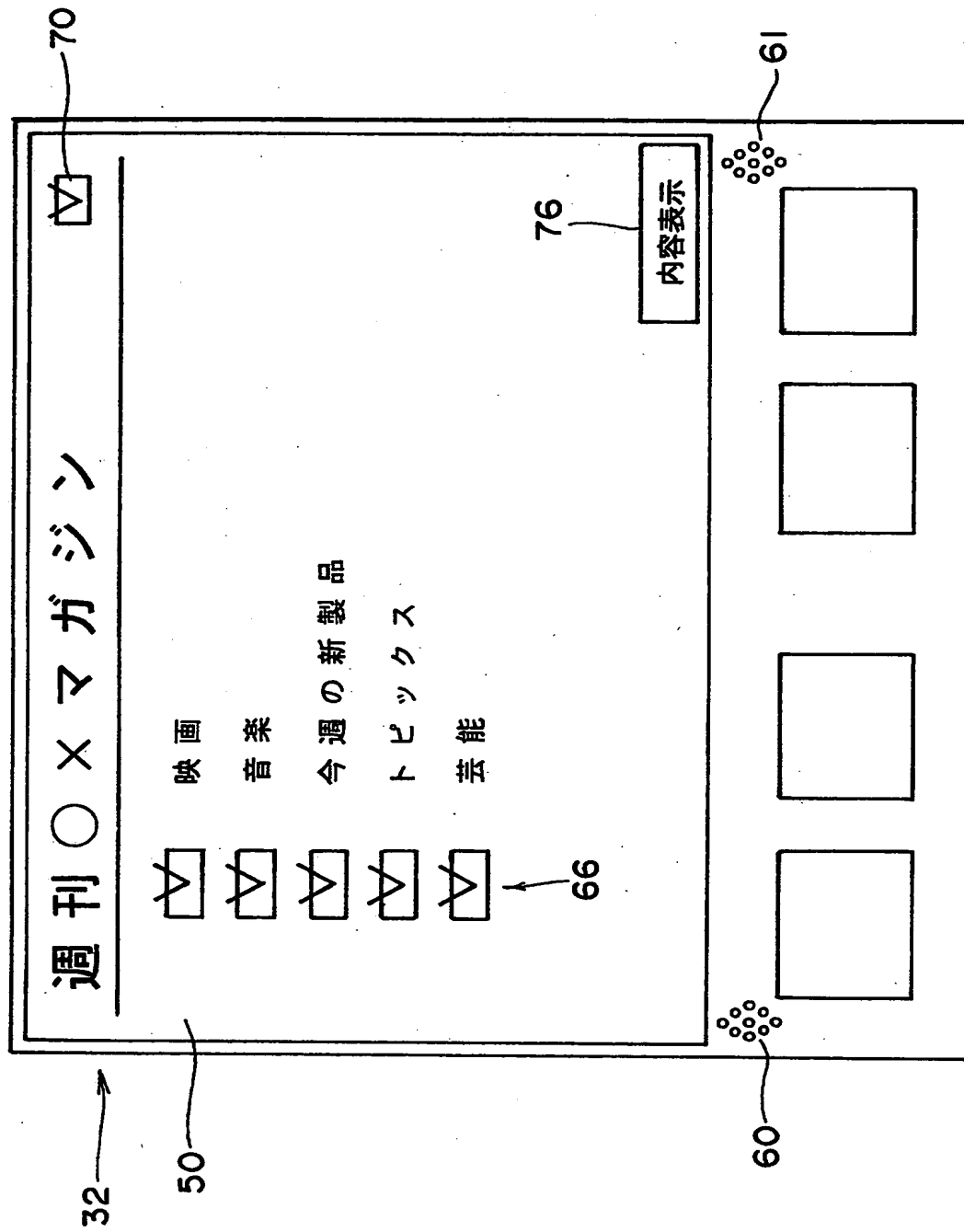
【図7】



【図 8】



【図9】



【図10】

32

< N A V Y >

ご指定の雑誌は購読手続きが済んでおりません。

IDとパスワードとを入力して送信してください。

ID:

A B C 1 2 3 4 5

パスワード:

※※※※※※※※

78

送信

A

B

C

D

E

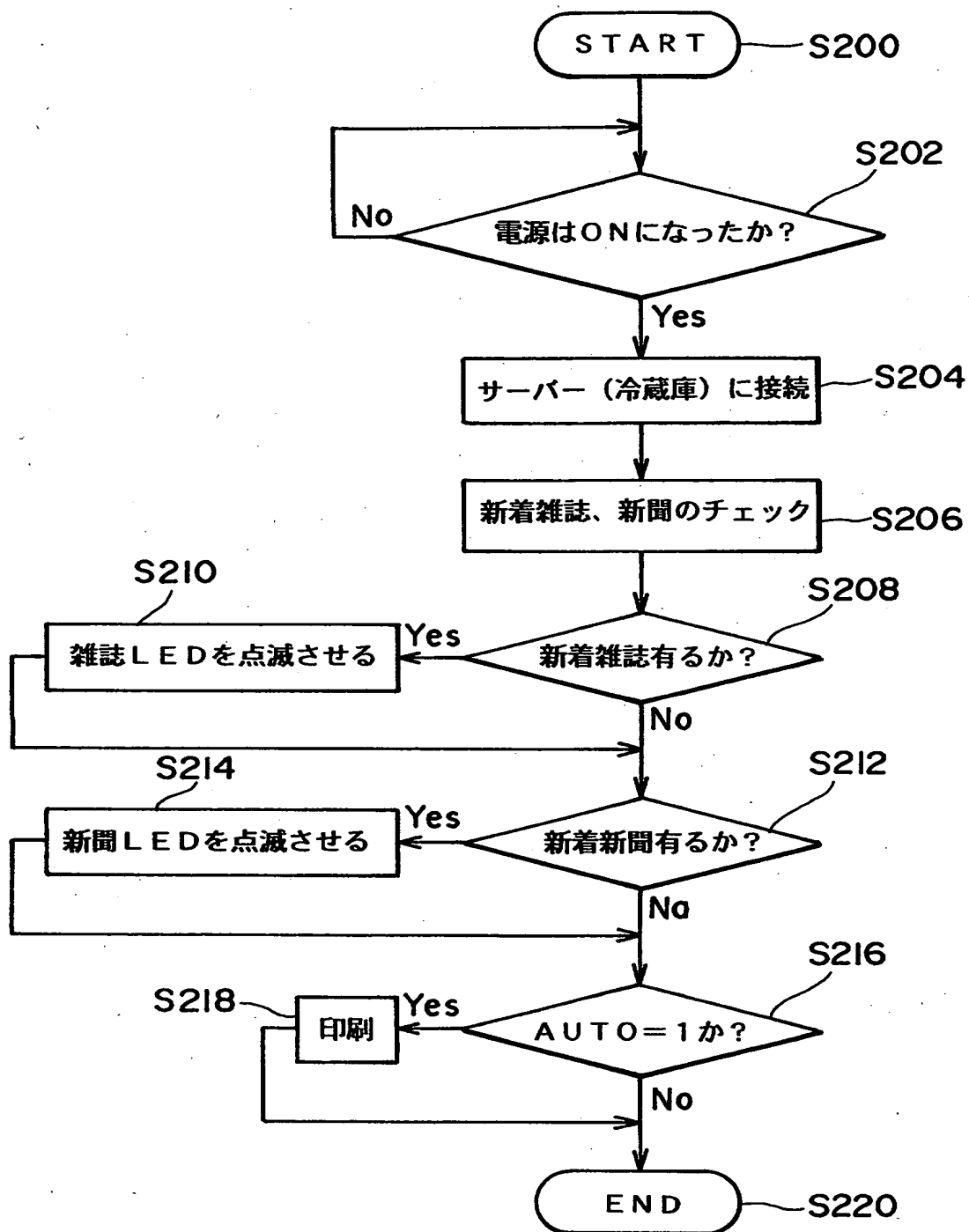
...

...

9

0

【図11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 利用者に対する通知の緊急度等の情報に応じて、複数種類の通知モードの設定が可能な通知システム及び通知方法を提供する。

【解決手段】 ローカルエリアネットワークを介して利用者に印刷又は表示して通知する情報の緊急度、自動通知の可否、通知する情報量又は通知を実施する通知手段を備えた通信機器等の各情報が記載された通知のプロパティファイル40を作成する手段（情報端末32）と、前記通知のプロパティファイルに記載された情報に基づいて通知する情報を印刷又は表示する通知手段（プリンタ28）とを備えたので、利用者に対する通知の緊急度等の各情報に応じて適切な通知の設定が可能となる。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社